



新しい朝

府中市立府中第十中学校
学校だより No.2
校長 芹澤 敏 光
令和 3年 4月 7日

入学式式辞

新入生のみなさん、保護者の皆様、本日は府中第十中学校へのご入学誠におめでとうございます。本日にここに、第42回入学式を挙行できますことを大変うれしく思っています。参列者の制限や内容の縮小などをお願いする形となりましたが、保護者の皆様のご協力にまず感謝申し上げます。例年とは違う形式ですが、新入生のみなさんが本日入学したことの大切な意味は何も変わることはありません。本校の教職員・上級生一同、例年にも増して祝福の気持ちを一杯に、みなさんの入学を心待ちにしていました。

さて本校では、めざす生徒像、つまり第十中学校での生活の中でこんな生徒に育ててほしいということをも五つの点にまとめています。それは、「十中生であることを誇りに思える生徒」、「努力と誠実さや正義を大切にできる生徒」、本校のスローガンである「明るくあいさつ きれいな学校 時間を守る」を実践する生徒、「喜びや悲しみ・苦しみを友達と分かち合い、仲間とともに成長しようとする生徒」、「自分で考え、判断し、行動する生徒」、この五つです。どれも中学校生活の中では大切なことですが、入学にあたりこの中から二つのことについてお話したいと思えます。

一つ目は、「努力と誠実さや正義を大切にできる生徒」についてです。物事に誠意をもって努力する、努力ができるということは非常に尊いことです。特に中学校では、先生に頼らず、自分たちで考え、計画し、実行することが多くなります。時には厳しく大変なこともあります。目標をもって地道にコツコツと頑張りぬくことで、素晴らしい感動や喜びが待っています。一生懸命やってよかったという思いを、ぜひみなさんにたくさん感じてもらいたいと思えます。また、一人一人に正義ということがしっかりと心に刻まれていれば、学校の中で起こりがちなじめの問題や、心ない言動によって心を痛める生徒が出てしまうことも絶対に起こるはずがありません。いいことはいい、悪いことは悪い、ダメなものはダメということが当たり前になり、自然とにじみ出るようであればなりません。努力と誠実さ、正義は必ず実を結びます。みなさんの中学校生活、そしてその後の人生においても、必ず心を豊かにしてくれるはずで

二つ目は、「喜びや悲しみ・苦しみを友達と分かち合い、仲間とともに成長しようとする生徒」についてです。人間は決して一人では生きていくことができません。生まれてから亡くなるまで、何らかの形で人との関わりの中で生活することになります。中学校の中ではそれが友人関係という形であらわれます。ですからいい友人関係をつくってください。中学校生活の3年間は、決してうれしいこと、楽しいことばかりではなく、悲しいこと、つらいこと、苦しいこと、残念なこと、思うようにいかないことなども必ずたくさんあります。そのようなときにその感情を分かち合ったり、支えとなったり、乗り越える糧となるのは友人の存在です。中学校時代に形作られた友人関係は、みなさんの将来にわたる人生を左右する、一生の付き合いになるかもしれません。人と人とのつながり、人間関係は、目に見えない貴重な財産となります。

保護者の皆様、改めまして、本日はお子様のご入学誠におめでとうございます。本校の上級生は非常に落ち着いた雰囲気の中で、生き生きと学習をはじめ様々な活動に励んでいます。これも常日頃からの保護者の皆様と地域の方々の温かい目とご協力の賜物であり、学校、家庭、地域との連携による、伝統に基づいた教育活動の基礎ができていく証しにほかなりません。今後とも、一人一人の生徒を大切にしたい教育活動に、教職員一同誠実に取り組んでまいります。お子様一人一人の夢の実現のため、これからの3年間、ともに手を携えながら、子どもたちの成長を支えていくためのご協力をよろしくお願いいたします。

本日入学した119名の新入生の皆さんが、この第十中学校の3年間の生活の中で、将来へ向けて素晴らしい夢を描き、その実現に向けて学校全体で、全力で取り組んでいくことを心に期して、式辞といたします。

令和3年4月7日

府中市立府中第十中学校 校長 芹澤敏光